

「健康・協働」をテーマとした
「市長とふれあいトーク」発言に対する検討結果等

〔開催概要〕

日時：平成21年5月25日（月） 19：00～20：15

場所：かごしま市民福祉プラザ 5F中会議室

※ 平成21年度第1回目

平成21年6月
鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成21年5月25日（月）19：00～20：15
場所：かごしま市民福祉プラザ

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	健康づくり推進員協議会 男性	① 喜入地区のお達者クラブについては、クラブは10人以上集まることが基準となっているが、世帯数も少なく、人数確保が困難である。	① 10人以上という条件を達成することが厳しいところがあるとは思いますが、活動継続のため会員の掘り起しなど検討していきたいと思えます。 また、他の介護予防事業の検討などもしてまいります。	健康福祉局	お達者クラブの継続は介護予防につながるものと思っております。 地域の実情もございますので、保健センターにおきましても、お達者クラブの継続に向けて、健康づくり推進員さんや地域の皆さまとともに、相談しあいながら進めてまいります。
		② 喜入地区のお達者クラブについては、校区単位で立ち上げているため、会場まで4km近くある場所もあり、あいばすも走ってはいるが、交通の便に配慮してほしい。	② 参加しやすい会場の検討など、保健センターと協議しながら、お達者クラブの方々と一緒に考えていきたいと思えます。	企画財政局 健康福祉局	お達者クラブは出来るだけお住まいの近くの会場で実施したいと考えております。参加しやすい会場の検討など、お達者クラブの方々とともに考えて参りたいと思えます。 なお、喜入地域におきましては、公共交通が不便な地域もありましたことから、地域住民の皆さんのご意見もお聞きしながら、20年10月にコミュニティバス「あいばす」の運行を開始したところです。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成21年5月25日（月）19：00～20：15
場所：かごしま市民福祉プラザ

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
		③ 健康づくり推進員はボランティアで行っているため、交通費を補助してほしい。	③ ボランティアで行っていただいていることについては感謝しております。健康づくり推進員の活動手当について、今年から3,500円を5,000円に僅かではありますが増額したところであり、要望に一部応えたものと考えております。 また、推進員は2人を定員としておりますが、引継期間などは4人を対象に手当を支給するなど、可能な限り、みなさんの負担を軽くなるよう努力しています。活動に支障がある場合は相談してほしいと思います。	健康福祉局	健康づくり推進員に対する活動手当は交通費等も勘案し、21年度から増額したところでございますので、交通費の補助については難しいものと考えております。今後とも活動の状況等については、把握に努めてまいります。
		④ 高齢者は、経済的余裕がない中で、テレビだけが楽しみの方もいる。地デジ移行のためテレビを買い換えなければいけない。市で補助していただきたい。	④ 地デジ移行は国の政策として決まっております。国は、NHK受信料が免除されている方などには、簡易チューナーの無償配布を行うと聞いており、国が一貫して対応するものと思っておりますが、それらの情報は市を通して行うことになるので、市民のひろばなどを使って周知していきます。 また、移行にあたっての要望などは、他の市町村でも同じような状況であることから、県の市町村会、九州、全国の会などでまとめて国に要望していきます。	総務局	今後、国の政策に注視しながら、国の示す一定の条件を満たす方への簡易チューナーの無償配布やその他助成等について、「市民のひろば」や市政番組、ホームページ等で随時周知してまいります。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成21年5月25日（月）19：00～20：15
場所：かごしま市民福祉プラザ

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
2	日本介護予防太極拳協会 男性	⑤ これからの健康づくりは、家で安静にするのではなく、「攻めの養生法」が大切である。呼吸、姿勢など東洋的な思想を軸にした養生法を実践し、介護予防を行うことを目指している。40歳以上の市民を対象に市民健康増進クラブを立ち上げ、介護予防、医療費抑制に役立てたいと思っているので、市の健康づくりを増進するうえで、「攻めの養生法」を取り入れてほしい。 また、普及活動を行っているが、会場の確保が難しい。	⑤ 健康づくりの様々な活動自体を重要であると考えますとともに、いろいろな団体、機関が連携し、市民一人ひとりにあった健康づくりの企画を立ち上げることも大切だと思っております。 市では、55プランに基づき、関係機関、市民が一体となった健康づくりを進めている。「鹿児島市健康づくり推進市民会議」を設置しているので、参加していただければと思っております。 また、運動を日常生活に取り入れるため、運動普及推進員という制度を設けている。それらと一緒に取り組んでいただけたらと考えております。 また、会場については、提案のあった企画に当てはまるか不明ですが、健康増進施設として、スパランド裸・楽・良、マリニピア喜入など、また、鹿児島アリーナ、松元、喜入に武道場などがあるので、健康福祉総務課などに相談してください。	健康福祉局 教育委員会	本市は、かごしま市民健康55プランに基づき、市民、関係機関・団体、行政が一体となった健康づくりを推進しております。 また、本プランに基づき、健康づくりに関わる関係機関・団体及び行政が、より効果的な健康づくり運動を展開できるよう、「鹿児島市健康づくり推進市民会議」が設置され、各団体で様々な取組を行っておりますので、ご参加いただけたらと思います。 なお、運動づくりのための運動を普及啓発する目的で養成いたしております運動普及推進員がおりますので、今後の運動普及推進員研修会のテーマに取り入れられるか検討してまいります。 活動会場については、健康福祉総務課で所管している健康増進施設の「スパランド裸・楽・良」や「マリニピア喜入」に会議室等（いずれも有料）がありますので、ご利用いただきたいと思います。 また、教育委員会が所管する施設として、鹿児島アリーナ、松元武道館及び喜入武道館の武道場があるほか、市民体育館、吉田文化体育センター、桜島総合体育館、松元平野岡体育館、喜入総合体育館があり、サンエールかごしま、各地域公民館もご利用になれます。予約方法等については、市民スポーツ課、生涯学習課又は各施設へご相談ください。
3	がんサポート鹿児島 女性	⑥ 市の施策の中に、がん特有の対策があるか。	⑥ 市では、がん検診を予算化しております。保健センター、学校などで集団検診を行うとともに、個別検診も行っております。	健康福祉局	平成21年度は、検診会場の増設、検診のセット化、土日検診の実施など受診しやすい体制づくり、広報誌や各種イベントにおけるがん検診等の受診勧奨に努めてきており、今後も引き続き様々な機会をとらえて受診者の増加を図ってまいります。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成21年5月25日（月）19：00～20：15
場所：かごしま市民福祉プラザ

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
		⑦ がん検診の普及啓発には、実際がんに体験しているがん患者を活用してほしい。体験談などを語ることで相手方にも思いが伝わると考えている。	⑦ がん検診の受診率は、残念なことに低いようです。理由は不明ですが、良い事業であるのに、現状では政策目的が達成されていないことは事実であり、提案があったことも1つの方策だと思しますので、研究していきたいと思えます。	健康福祉局	受診率の向上については、市民のひろば、テレビ・ラジオ等による受診勧奨を継続して行なっておりますが、今年度は、多くの市民の皆様にご覧の検診の制度を理解し、受診していただくことを目的として、個別訪問や市の行事・講座等に直接出向いて、がん検診事業の広報・啓発を予定しております。
		⑧ がん患者は、がんと分かったときに、がんに関する知識が少ないため非常に動揺する。そのため、若いうちから、教育分野で、命の教育の分野に、がんに関する教育を取り入れてほしい。	⑧ 児童・生徒に対するがん教育については、どのような対応が可能であるのか教育委員会に聞いてみます。また、健康福祉部門でも研究させたいと思えます。	健康福祉局 教育委員会	健康福祉局においては、がん教育について、教育委員会と協議してまいりたいと考えております。 現在、教育委員会においては、命の尊さを考えさせる教育については、道徳の時間に小学校低学年から指導しています。 特に県教委作成の「命の尊さを考える」読み物資料には白血病を扱った教材があり、その資料を使った授業が展開されております。 また、体育・保健体育の保健学習の「病気の予防」において、がんの疾病を取り扱っており、食事、運動、休養・睡眠などの望ましい生活習慣を身につけることが、がんの予防につながることを学習しているところです。 今後も保健指導や保健学習を充実させ、一次予防や早期発見・早期治療の重要性について理解を深めてまいりたいと考えております。
		⑨ がん患者は見た目は普通であるが、なかなか仕事に就けない者もいる。がん患者の就労支援などには取り組んでいるのか伺いたい。	⑨ 就労支援については、市全体として、経済担当部署において、全市民向けの対応を行っております。相談窓口を設置しているので活用していただければと思います。 また、市立病院が、がん診療指定病院の指定を受けたことから、今後、速やかにがん相談支援センターを設置したいと報告を聞いております。設置後は、そこも活用していただければと思います。	経済局 市立病院	現在、本市においては、市民の方々が気軽に就労相談ができるように、市役所東別館1階 市民相談センターに雇用相談室を設けております。 また、国や県と連携しながら、誰もがいきいきと活躍できる雇用環境づくりに努めております。 市立病院においては、現在、がん相談支援センターに向けて準備中です。 支援センターでは、生活支援として経済的支援制度や福祉サービスの手続きや利用法及び職場・家庭の悩みに対して、支援員と一緒に良い方法を探してまいります。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成21年5月25日（月）19：00～20：15
場所：かごしま市民福祉プラザ

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	健康づくり推進員協議会 女性	⑩ 桜島地区については、健康づくり推進員は養成講座の際、旧市内までのフェリー代がかかるが、ボランティアのため、新たな候補者を探しにくい。 また、お達者クラブにマジックや民謡などのボランティアを招くとき、フェリー代など負担が必要。交通費の実費補助をお願いしたい。 福祉バスを呼ぶときはフェリー代が不必要だったりする。旧桜島町時代は、無料で渡船できる事も多かった。	⑩ 現状では、お達者クラブは各地域に広く存在しており、交通費の支給は難しい面があります。養成講座の会場については、近くで受講できるよう柔軟に対応できないか検討してまいります。 民謡などのボランティアを招くときにはこういった対策が可能か研究してみたいと思います。 できるだけ、皆さんの負担にならないようにしてまいりたいのですが、市全体の予算のこともあります。過分なことはできませんが、研究してみたいと思います。	健康福祉局	健康づくり推進員養成講座受講の際の交通費は、桜島地区の方に限らず、参加者の負担としているところであります。 また、会場に関しましては、出来るだけ多くの方が、参加しやすい会場を選定しているところでございます。養成講座に係る交通費については、現時点では、難しいと考えておりますが、今後ともより多くの方々に参加していただけるよう努めてまいります。
5	がんサポート鹿児島 男性	⑪ がんになると、仕事、家族、医療費など心配なことが増える。そのため、現在、NPOで実施している情報交換の場である「がんサロン」について、市内に広げていきたい。市立病院など公的機関でも、月1回でもいいのでサロンのような活動をしてもらえないか。できれば、民間の病院にまで活動の輪を広げていきたい。	⑪ 市立病院が、がん診療指定病院の指定を受け、速やかにがん相談支援センターを設置すると聞いておりますので、まず、そこでどのような対応ができるのか考えていきます。 また、心の相談については、保健所保健予防課に相談窓口があるので活用してください。 がん患者は、市内だけにいるわけではないので、県全体で考えるべきと思っています。県、市の医師会、県立病院などを含めた全体の中で考えていくのも1つの方策ではないかと思えます。市としては、市立病院の相談センターがどのような対応ができるのか考えていきます。	市立病院	現在、がん相談支援センターに向けて準備中です。 支援センターでは、がん患者会との連携や他の医療機関、在宅支援診療所、地域緩和ケアネットワーク等と連携を深め、がん患者の悩みや不安に対し支援いたします。 また、支援センターでは緩和ケア認定看護師の配置も検討しております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成21年5月25日（月）19：00～20：15
場所：かごしま市民福祉プラザ

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
		⑫ がんサロンの運営には、専門的にサポートするスタッフが必要である。これまで勉強会などは開かれていないと思うが、市でボランティア養成講座など開催してもらえないか。	⑫ 毎年、医師会、市などが主催する健康づくりの大会などが開かれているのでそのような中で対応できないか、関係団体にも話をしてみたいと思います。	健康福祉局	がんサロンにつきましては、県が中心となって実施する施策でございますので、県と連携してまいりたいと思います。
6	健康づくり推進員協議会 女性	⑬ おはら祭で使用したタオルに余りがあればいただきたい。祭のはっぴに再利用したい。	⑬ 総おどり参加者に配布していますが、予定していた人数より少ない場合などは余ることもあるかもしれません。再利用も1つの方法だと思うので、担当課に伝えておきます。	経済局	余ったタオルの活用につきましては、おはら祭の振興に寄与する場合は提供してまいりたいと考えております。
7	がんサポートかごしま 女性	⑭ 保健所は、がん相談等にあまり機能していない。県のがん推進計画の中で市町村の保健所が相談を担うとされていたと思うが、県においてもまだ研修等も行っていないとのことであった。できれば保健所にそのような相談に対応していただきたい。 また、患者の会は、医療従事者にできないことをできる自負がある。保健所とがん患者等の連携を深め、相談窓口で患者会を紹介するなどしていただきたい。	⑭ 保健予防課は、現状では、心の相談窓口として対応しています。 今後、市立病院に相談センターが設置される予定のため、その中でも考えていきます。	健康福祉局 市立病院	保健所においては、今後とも心の相談窓口として、心の健康、医療福祉相談など相談に応じて参ります。 市立病院においては、現在、がん相談支援センターに向けて準備中です。 支援センターでは、生活支援として経済的支援制度や福祉サービスの手続きや利用法及び職場・家庭の悩みに対して、支援員と一緒に良い方法を探してまいります。 また、がん患者会や他の医療機関、在宅支援診療所、地域緩和ケアネットワーク等と連携を深めながら支援いたします。
		⑮ 名古屋市では、市としてがんサロンに人件費、会場代などの予算が付いたと聞いている。がん対策については、来年度予算の「人にやさしいまちづくり」の項目に、ぜひ、具体的に予算化してほしい。	⑮ 名古屋市の事例も研究してみたいと思います。 がん以外にも、様々な病気があり、そういった方々との連携も必要であろうと考えておりますのでご理解ください。	健康福祉局	がん対策については、今後とも関係団体と連携しながら、各面から研究してまいりたいと思います。